

重点取組項目	具体的な方策
1 子どもたちが学校等でやりたいことを支える	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味・関心や学習進度に応じた学習者中心の学びの推進 ・安心安全で自分の「やってみたい」を受け止めてもらえる環境づくり ・個別最適な学び、協働的な学びなど、学習指導要領で求められる学力を身に付けるための授業改善 ・プロジェクト型学習、STEAM教育等、様々な手法を取り入れた新たな教育モデルの構築と知見の共有
2 教員が学校等でチャレンジしたいことを支える	<ul style="list-style-type: none"> ・教員配置の充実や外部人材の活用、市町村教委への指導主事配置の推進等による教職員の余白づくり ・教員の柔軟な採用・配置・異動を含めた処遇の抜本的な改善、教育制度の構造に踏み込んだ改革 ・教員業務支援員の拡充・民間人材（地域、企業等）の積極的な活用、特別免許状の積極的な活用 ・教育委員会による業務の共有・調査等の削減・人的リソースの確保、大学等と連携した管理職養成 ・部活動の地域移行を専門的に担うコーディネーターの配置、外部指導者の予算措置
3 一人ひとりの学びや得意を共に認め合う仕組みを検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みや得意な分野を活かしてチャレンジできる入試制度の検討 ・多様な学びを互いに認め合う、出席認定にとられない評価のあり方の検討、自由な進路選択の保障 ・「学校外にも豊かな学びの場がある」「学校に行けなくても大丈夫」という価値観の啓発
4 長野県の中山間地域の強みを活かした特色ある学びを広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔学習、自由進度・異年齢による学びの推進、特例校制度の積極的な活用 ・管理職の公募、在任期間の長期化、ガバナンス・マネジメント力の強化、裁量権の拡大 ・へき地手当を含めた抜本的な処遇改善 ・小規模校のネットワーク化による単位の相互互換、特色ある授業の受講、短期留学の実施等
5 「こどもまんなか社会」の実現に向けた様々な機関の連携・協働を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学校外、公立・私立の対話・連携、相互交流、学び合いの推進、情報・ノウハウの共有 ・不登校や学校以外の学びに対する理解の形成・拡大 ・相互のコミュニケーション・関係づくりを重視した幼保小連携の推進 ・学習支援や課外活動の運営等を行うコーディネーター的役割の支援組織・体制の構築 ・子どもや保護者といった当事者の声をしっかりと聴き、受け止める
6 多様な学びの場を信州全体で支えるネットワークを再構築する	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政の広域化（一部事務組合、教育委員会・指導主事の共同設置等） ・人事、予算等の権限や財源の移譲 ・学校改革の伴走支援の専門組織の新設、学校支援の専門家の育成 ・地域・社会資源（自然・歴史・文化・人材）の充実、積極的な活用 ・企業・研究機関との連携・協働